

経営指針発表・所信表明

有限会社から株式会社へ変更するに当たり、平成5年10月より取り組み始めた「経営指針書」を、一年後の平成6年10月に、初期「経営指針書」をたたき台として作りました。以後、5年3か月経営指針を深め、あらゆる概念整理をして参りました。

つまり、経営指針書に取り組み始め「丸6年3か月間×365日一睡眠時間」概念整理をして来ました。結果、揺るぎ無い「経営理念」を確立することが出来ました。

この「何の為に経営するのか」ということを一言で表した言葉が「経営理念」です。すべては、経営理念実現の為に、会社経営、人生経営が存在するという自覚に至りました。そして如何なる方法、仕組みで維持発展させて行くのか、ということ社員は勿論のこと、得意先をも納得させられる明確な哲学を深めて来ました。

経営の目的は「経営理念の実現」であり、経営理念の実現の為に事業が存在するんだという自覚の下、事業の目的は「適正規模の確立」だという信念に至りました。理念を実現する為の、あらゆる「適正」とは何か。を確立することが事業の目的である。という自覚に至りました。香川湧慈の、経営に対する考え方・生き方、エモーションの仕事の流儀を「経営指針書」に成文化しています。

そして、経営理念である「志高く、らしく生きる。」為に、経営目的を明らかにしました。本当に、生涯懸けて実現したいことが、経営目的です。

「日本の零細企業の雛型（モデル）を目指すことで、自分の生き様を通して、縁ある人に勇気と感動を与えるキッカケを与え続ける人生を歩みたい！」という想いです。先ず、理想を描かない限り、理想には近づかない。と思います。

理想の零細企業であり続ける為に、社員全員が健康で、それなりに経済的豊かさがあり、社員同士が、相互に心温かく通じ合い、働くことに燃え、苦しみ、感動し、何かを残し、何かを伝え、自分が人間として成長していると実感出来、人のため、世の中にエモーションらしく役に立つこと。更に、人と自分の人生に感謝出来ることが会社の本来あるべき姿だという信念が出来ました。

そんな風土を創ってゆくには、敢えて「魅力ある零細企業」であり続けないと目的は達し得ないと思っています。だから、株式会社の形態は執っているけれど、信頼関係の構築された、苦楽共有を自然体で出来ている本来の「家族」で在り続けたいと思います。これが「会社は家族」だ。という概念です。規模を大きくしては成らない。「最大となるより、最良となれ。」を模索し続ける経営を実践することで、社員一人当たりの粗利額の向上と、人間としてのクオリティを上げ続ける一生を歩める会社にして行くことを、ここに誓います。

平成12年 2月11日 株式会社エモーション 代表取締役 香川 湧慈
社員と株主（10名）に発表したものです。 (38歳)